

## 油圧ショベル(クローラ式)

## 特定自主検査記録表

3年間保存

証明書  
発行日

2024年 10月 4日

様式SR-EHC-01-F

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出  
の抑制を図るために指針に基づく検査共用証明書  
発行No.

1N5B271006741

機器  
No. 012138

メーカー名 日立建機		管理No.U402P00002		愛知県東海市東海町1丁目2-1	
型式 ZX480LCK-5B				氏名又は名称 日立建機日本(株) 東海営業所	
製造番号 031091				機械管理者氏名 加藤 久尚	
性能 4.0m <sup>3</sup>		稼働時間	2368 h	検査業者登録番号	
検査実施場所 愛知県常滑市金山				検査業者又は事業者 愛知県弥富市楠1丁目124番地	
検査年月日 2024年10月4日		検査者氏名 稲田 和也		住所・名称 日立建機日本(株) 弥富機材センター 責任者名 加藤 久尚	
区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良
エンジン シリンジ	1	エンジン警告灯(電子制御式)  ④ガス漏れ、水漏れが認められない場合は、この検査を省略してもよい。	警告灯の表示(イドリング、無負荷最高回転、弁隙間、圧縮圧力)	自視、操作	✓
	本体	a ★始動性	かかり具合、異音、始動時予熱機能の作動	自視、操作、聴診	✓
		b ★回転の状態	クセルの作動、回転具合	自視、操作、聴診	✓
		c ★排気の状態	アイドリング回転( min <sup>-1</sup> )、無負荷最高回転( min <sup>-1</sup> )	操作、回転計 MPDr モニタ	—
		d ★エアクリーナー	排気色、排気音	自視、操作、聴診	✓
		e ★締付け	排気管、フラー等のガス漏れ	自視、操作、聴診	✓
		f ★弁隙間	シリンダーヘッド・マニホールドの締付け	トルクレンチ	✓
		g ★圧縮圧力	弁隙間 刃根大 mm・最小 mm 刃根大 mm・最小 mm	シックネスゲージ、目視 MPDr	✓
		h ★過給器	圧縮圧力 (MPa)	圧縮圧力計、目視 MPDr	✓
		i ★エンジンマウント	クラケットの亀裂、変形、緩み、脱落、防振ゴムの損傷、劣化	自視、レンチ等	✓
2	★潤滑装置	油漏れ、汚れ、油漏れ、エレメントの汚れ、損傷	自視	✓	
3	★燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷、老化、エレメントの汚れ、目詰まり	自視	✓	
4	★冷却装置	水漏れ、汚れ、目詰まり、ホースの損傷、ひび割れ、老化、クーラーターキャップの機能、損傷、ベルトの緩み、耗耗、ファン、カバー、クランプ等の亀裂、損傷、変形、取付	自視、触診、レンチ等	✓	
5	★電気装置	充電装置機能、バッテリーの液量、端子緩み、短絡、配線の緩み、損傷	自視、触診、テスター	✓	
6	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動	自視、操作、聴診、圧力計	—	
7					
走行装置	8	起動輪、遊動輪	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	自視、触診、触診、探傷器スケール、バス	✓
	9	上部ローラー、下部ローラー	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	自視、触診、触診、探傷器スケール、バス	✓
	10	履帯	ショートの亀裂、変形、摩耗、取付、リンク、シューの亀裂、摩耗、ビッチ長、緩み、ピン抜け出、ゴムペットの欠け、老化、摩耗	自視、レンチ等、操作スケール、探傷器	✓
	11	ゴム履帯	スチールコードの切断、損傷、ゴムの欠け、老化、摩耗、心金脱落、緩み	自視、スケール	—
	12	履帯調整装置	作動、鋼線カート、チャット、ロッド、ヨークの亀裂、変形、短絡、摩耗、リンクー油漏れ	自視、操作、探傷器	✓
	13	走行減速機	異音、異常発熱、ホース亀裂、損傷、取付、油漏れ、汚れ、油漏れ	自視、触診、触診、レンチ等	✓
	14				
制動	15	走行ブレーキ	効き、片効き	自視、操作、卷尺	✓
	16	駐車ブレーキ	効き	自視、操作	✓
	17				
作業装置	18	ブーム、アーム、バケット、リンク	亀裂、変形、摩耗、がた、取付、ビンシール損傷	自視、触診、レンチ等、ノギス、探傷器	✓
	19	ツース	脱落、がた、摩耗	自視、触診	✓
	20	ブレード(堆土板)	亀裂、変形、摩耗、がた、取付	自視、操作、レンチ等、探傷器	—
	21	フック	変形、摩耗、亀裂、外れ止めの機能、損傷	自視、操作、ノギス	✓
	22				
油圧装置	23	作動油タンク	油漏れ、④作動油の油量、汚れ、エア漏れ、リーザー目詰まり、取付	自視、レンチ等、石けん水	✓
	24	フィルター	油漏れ、④汚れ、目詰まり、損傷	自視、触診	✓
	25	配管(ホース類、高圧パイプ)	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、ぬじれ、油漏れ、取付	自視、触診、レンチ等	✓
	26	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、*負荷時吐出量、吐出圧	自視、触診、触診、テスター	✓
	27	油圧モーター	旋回用 走行用 冷却用	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱 油漏れ、異常振動、異音、異常発熱 油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	自視、触診、触診、操作 自視、触診、触診、操作 自視、触診、触診、操作

## 3年間保存

証明書  
発行No.

1N5B271006741

機器No. 012138

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容
					良	不良	
油圧装置	28 油圧シリンダー	ブーム用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、山がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー	✓		
		アーム用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、山がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー	✓		
		バケット用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、山がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー	✓		
		ブレード用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー	—	—	—
		スイング用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、山がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー	—	—	—
		オフセット用	作動、油漏れ、伸縮量、打痕、亀裂、曲がり、擦り傷	目視、操作、スケール、タイマー	—	—	—
	29 制御弁(コントロールバルブ) (方向制御・圧力制御・流量制御)	方向制御弁の作動、圧力制御弁の作動、流量制御弁の作動 油漏れ、取付	目視、操作、レンチ等	✓			
	30 電磁弁(別体型)	作動、異音、異常発熱、油漏れ	目視、操作、聴診、触診	✓			
	31 逆止め弁	作動、油漏れ	目視、操作	✓			
	32 回転錐手	回転状態、油漏れ	目視、操作	✓			
操作	33 オイルクーラー	油温、ラインの目詰まり、パイプの変形、破損、油漏れ、ホースの損傷 ベルトの緩み・損傷・摩耗、モーターの振動、異音、発熱	目視、聴診、触診、スケール	✓			
	34						
安全装置	35 操作レバー	ストローク、がた	目視、操作、スケール	✓			
	36						
	37 下部架台フレーム、ブラケット	亀裂、変形、ゆるみ、動部摩耗、取付	目視、スケール、レンチ等、探傷器	✓			
	38 旋回フレーム、ブラケット	亀裂、変形、取付	目視、レンチ等	✓			
	39 旋回ペアリング、旋回ギヤ	引っ掛け、異音、ギヤ亀裂、摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	✓			
	40 旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診、レンチ等	✓			
	41 旋回ロック	動き、亀裂、損傷、油漏れ、ホースの損傷、老化	目視、操作	✓			
	42 レバーロック、ペダルロック	動き、損傷、変形	目視、操作	✓			
	43 キャブ、カバー	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等閉閉、ロックキーの作動、ガラスのがた、損傷	目視、探傷器、操作	✓			
	44 カウンターウエイト	取付ボルトの緩み、脱落、伸び	目視、テストハンマー、レンチ等、スケール	✓			
車体関係等	45 座席	調整装置、ロック装置の作動、損傷、取付	目視、操作、レンチ等	✓			
	46 シートベルト	損傷、巻取装置のロック機能、取付	目視、操作、レンチ等	✓			
	47 昇降設備、滑り止め	亀裂、損傷、変形、取付	目視、レンチ等	✓			
	48 表示板	損傷、取付	目視	✓			
	49 灯火装置、方向指示器、窓拭き器、デフロスター等	作動、損傷、取付、レンズの損傷、水没入	目視、操作、レンチ等	✓			
	50 計器類	作動、損傷	目視、操作	✓			
	51 警音器、後写鏡、反射鏡、カメラ	音量、音質、汚れ、損傷、写影、取付	目視、操作、聴診、レンチ等	✓			
	52 給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓			
	53						
	54 総合テスト	機能、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓			
排気装置	55						
	56 ★★ -酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み、取付、損傷、排気温度警告装置配線の取付、損傷 排ガス減少装置のホース、パイプの緩み、取付、損傷	目視、聴診、レンチ等	✓			
事業者要請への等	次回特定自主検査実施年月	2025年 10月					

## 補修等の措置内容

照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容							
備考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安術法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。	記号	交換	分解交換	修理	調整	締付	清掃	給油水	該当なし
			×	⊗	△	A	T	C	L	—